

チャレンジ工房News

第74号

平成29年5月発行

発行先 パソコン工房チャレンジ

編集責任者 曲 圭子

イラスト Ava・keiko

工房の日々

～地域の町内会に加入させて頂きました～

工房ができて早7年・・・

今年はじめには3名の新しい 所員さんを迎え入れ、またカレンダーやポストカードなどのオリジナル自主製品の制作・販売や障害者情報ネットワーク 尼崎からの委託を受け、工賃仕事として行っている Web サイト「市民活動の 広場あまがさき」のモニター業務での実績を年々積み重ねている中で、3年後の「工房設立10周年」に向けて、ゆっくりと確実に突き進んでいます。

工房設立以来、運営法人の尼崎障害者センターと協力連携しながら東北の作業所の物品販売支援をしていく中で、実際被災された作業所の職員の方のお話を聞くことができ、その中でも「万が一の自然災害に備えて、日頃から隣近所と顔なじみになったり、町内会に入るなどして地域との結びつきを持つことが大事だ」と一番強調されていました。

尼崎の障害者作業所や障害者団体の中でも、近い将来起こり得るだろうとされている南海トラフ大地震の災害時のときの支援体制を強化させていくためにも共生社会を築いていくためにも、このような動きをしていく方がいいだろうと言われはじめ、当工房も今年度より地域の町内会に加入させて頂くことになりました

町内会の役員さんの中には、所員さんの友人の方も、介護タクシーのドライバーをされていた方もおられて、嬉しいことに「障害者」だからと言って、何一つの偏見を持たずに「うちの町内会に入ってくれるんや。また私たちにできることがあればするから言ってきてちょうだいね」と温かく迎え入れて頂きました。

また回覧板も、工房が開所しているときに毎回届けて下さり、「今回はこんなイベントのお知らせが載っているから、コピー置いていくから、あとでゆっくり目を通したらいいわ。印鑑だけくれへん」とごく自然に接して貰っているので、有り難い限りで感謝の気持ちがいっぱいです

所員さんを通じて、地域の方々から「パソコン工房で Word や Excel の基本的な講習会をしてくれたらいいのに」と多くご要望頂いたりしていることもあるので、また年賀状の時期でも地域の方々を対象にした「年賀状講座」を開いたりして、少しずつでも地域の方々に恩を返して行けたらと考えています。

そして、今年の年末には工房の掲示板に「格安で年賀状印刷承ります」というチラシが貼れるぐらい、年賀状のデザインの作成や年賀状印刷の工賃仕事を任してくれる所員さんが育ってもらうことができたらと思う今日この頃です。

5月の日程

4/29(土)～5/7(日)

ゴールデンウィーク休暇

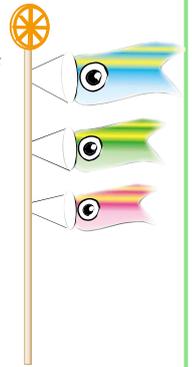
※上記の9日間、所員・スタッフの心身 ともにリフレッシュを図るため、ゴールデンウィーク休暇を頂きます。

※休み明けは、5/8(月)から開所します。

5/22(月) パソコン学習会

13:00～15:00

※今回は、「ファイル 構造」について皆さん で学習する予定にしています。



スタッフ・所員によるリレーコラム

今回のスタッフ・所員のリレーコラムは、写真・踊りなどの趣味や日々の家事で忙しくされている所員の佐々木さんに「パソコンと私」というテーマで書いて頂きました。

私とパソコン

桜の花も散り染めています。その一瞬を写真に写したく、カメラ歴 18 年の私が、自分でプリントをしたくて、パソコンに取り組み始めました。カメラは、1 眼レフからデジタル、へ進み、パソコンがどうしても必要になりました。クラブで最高齢 93 才の方でプリントをしています。

私にも出来るかもと、安易に考えで、ノートパソコンとプリンターは、揃えました。が教えて頂いても良くわかりません。パソコン工房チャレンジとの出会いは天の助けでした。80 才過ぎ頭の回転が鈍く先生方を困らせています。生来の好奇心一杯でも、出来上がりに満足しています。

各種会合のお知らせなど写真を挿入したりして、喜んで載っています。嬉しい事です。これからも、友達お誘いボケ対策としてパソコンを続けて行けたらと思っています。

佐々木 艶子

どうしてもパソコンや最新の家電機器から遠のいてしまう年代にあるのに関わらず、他の同世代の所員さんにも負けじと常に「追求心」を持って、パソコンの研修に望まれています。

そんな佐々木さんの「毎日少しずつでもカメラやパソコンの何らかの技術を習得したい」という前向き思いは私たちも頭が上がらないほどです。

また佐々木さんは、有難いことに工房のお母さんの存在で他の所員さんにも気さくに「お兄ちゃん、お姉ちゃん」と絶えず声をかけて下さったり、花見会やクリスマス会のレクのときは「こんなもの作ってきたのやけど・・・」と言って手料理を振る舞って下さいます。

今 Word で「自分史作り」に挑戦されているとのことなので、是非 1 冊の冊子にして、日々のパソコン研修の爪あとを「カタチ」にして残して貰えばと考えています。

東北作業所の「いちごジャム」の予約販売にご協力ください

東北に震災 7 年目の春が来ました。5 年前に訪問しました仙台市の海岸ベリの平地はその時のまま、まだ「まち」へは戻っていないようです。阪神大震災の時に全国からの支援に励まされた私たちは、やはり今年度も東北支援事業を続けたいと思います。よろしくお願いします。

今年で 4 年目になりますが、宮城県山元町の障害者作業所「工房地球村」で作られる「いちごジャム」の予約販売をいたします。津波でいったんは全滅したイチゴ栽培ですが、4 年前、復興の希望として生産が再生されました。作業所の皆さんが、採りたての大粒のいちごを一粒一粒すりつぶし、ていねいに煮つめて作っています。180g 1 個 750 円です。

予約締め切りは 5 月 31 日です。

6 月下旬にお届けできると思います。本年も「頑張って作りますのでご注文ください。」と声をかけていただきました。私なんかには甘すぎずやさしい味で、届いたしばらく、朝のパン食が楽しみです。

同時にこれまで購入いただいた東北の障害者作業所の製品「かりんとう」「クッキー」などの物品も、予約販売いたします。同封の予約用紙にご記入の上、

FAX 専用：077-598-1891 または メール：amasgscenter@yahoo.co.jp へてご注文ください。（FAX 番号は昨年とは違って変更となっています）



お尋ねなどは、担当者の携帯番号：090-8793-2133 へおかけください。

NPO 法人尼崎障害者センター 東北作業所物品販売事業 担当者：広瀬 徹